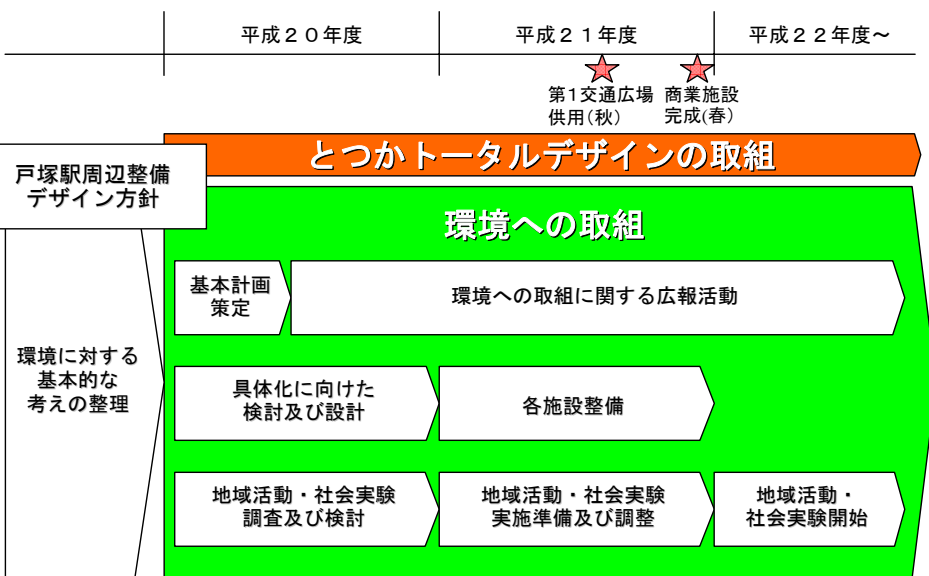


◆環境への取組の流れ



戸塚駅周辺整備デザインの考え方(素案)に寄せられた
市民の皆様のご意見(自由意見)484件
うち環境・緑化へのご意見55件

平成19年11月
意見募集



- (環境・緑化へのご意見内訳)
- 緑や花を多くしてほしい。(30件)
 - 一休みできるベンチや緑が多い憩いの場をつくってほしい。(15件)
 - 緑化、自然エネルギーの導入など、環境にやさしい取組をしてほしい。(10件)

戸塚駅西口再開発における環境への取組

環境への取組基本計画を策定しました。



戸塚駅西口再開発事業では、戸塚駅西口が便利で快適な街となるよう、**デザイン・環境・情報**の3つのテーマについて「とつかトータルデザイン」として総合的に取り組んでおり、本年4月には、市民の皆様のご意見も参考にしながら、公共施設や再開発ビルなどに関するデザインの考え方はじめ、地球環境にも関連した内容をまとめた戸塚駅周辺整備デザイン方針を作成いたしました。

今回、この戸塚駅周辺整備デザイン方針を踏まえながら、**環境への取組を実践していくために、「戸塚駅西口再開発における環境への取組基本計画」を策定いたしましたのでお知らせします。**

今後は、「戸塚駅西口再開発における環境への取組基本計画」に基づき各施設の設計・整備を進めるとともに、維持管理に市民や企業・事業者の方との協働の仕組みを取り入れるなど**地球環境に配慮した質の高い都市環境が持続的に発展していく取組を進めます。**



施設イメージ
戸塚郵便局側から駅方面を望む

これらの環境への取組は、本市が推進している150万本植樹行動の一環として位置付けるとともに、脱温暖化に向けた本市行動方針CO-DO30(都市と緑CO-DO)に基づく具体的な施策として進めてまいります。



駅前デッキイメージ
橋上コンコース側から共同ビル棟方面を望む



「大踏切の辻」イメージ
駅東側から共同ビル方面を望む

壁面緑化のイメージ

※パースはイメージを表現したものであり、今後の計画により変更になることがあります。

あちこち・ドキドキ・ハマのまち
都市整備局



横浜市都市整備局戸塚駅周辺再開発事務所
〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町13番地 ラビス戸塚3 5階
TEL: 045(864)2621
FAX: 045(864)2623
メールアドレス: tb-totsukaiken@city.yokohama.jp
平成20年7月発行
横浜市広報印刷物登録 第200183号
種別・分類 C-JJ120



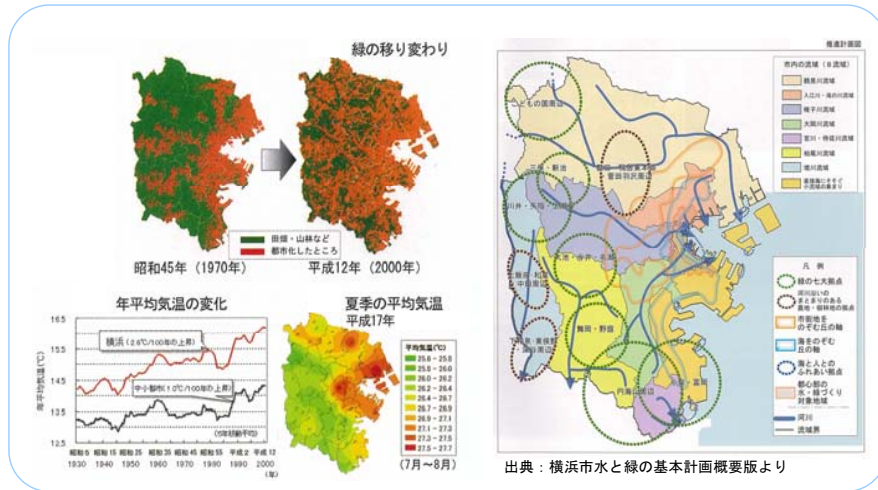
戸塚駅西口再開発における環境への取組基本計画の策定

◆社会的背景

近年、二酸化炭素などの温室効果ガスの増加による温暖化や、都市部におけるアスファルト舗装・ビルの輻射熱・ビルの冷房の排気熱等によるヒートアイランド現象が地球規模での環境問題となっています。

横浜市においても、環境負荷の増大や、緑地や水面の減少により、地表面からの蒸発散量が減少し、都市部を中心に気温が上昇しており、ヒートアイランド現象の顕在化などが課題となっています。(年平均気温について、中小都市では1.0℃/100年の上昇に対し、横浜では2.6℃/100年の上昇)

一方、横浜の水と緑の特徴としては、河川を軸として、森、丘、海へと連なる流域の中で、魅力ある水と緑が市民生活の身近な場所に散在していることが挙げられ、戸塚駅西口再開発地区は、柏尾川を軸とした、水と緑のネットワークの拠点の1つとして期待されます。



◆戸塚駅周辺整備デザイン方針

戸塚駅西口を整備するにあたり、「通りみち」から「集えるまち」のまちづくりの基本目標のもと、市民の皆さまのご意見も参考にしながら、地区全体のデザインコンセプトを「戸塚オリジナルモダン」として再開発を進めています。(平成20年4月 戸塚駅周辺整備デザイン方針)

「戸塚オリジナルモダン」の目指すところ

安全性、快適性などを踏まえた現代の都市デザインを基本としつつも、戸塚の地域性や歴史性に基づく新たなデザイントーンの新出や、まちの持続的な発展につながる仕組みづくり等も踏まえた、オリジナリティの高いデザインを目指す。

「戸塚駅周辺整備デザイン方針」における環境関連方針(分野別デザイン方針)

○みどり(憩うみどり、むすぶみどり)

- ・まとまったみどりや効果的なみどりの創出により、都市のなかのやすらぎを演出する。
- ・ひとの目線に沿った戦略的な緑化により、歩きながら楽しめるみどりを配置する。

○環境(循環型社会への貢献)

- ・自然エネルギーの活用による省資源化、リサイクル材の利用など、環境負荷軽減策を積極的に取り入れる。

◆戸塚駅西口再開発における環境への取組の目指すところ

戸塚駅西口再開発では、まちづくりのテーマを、うるおい・ゆとり・にぎわい・はぐくみとしており、特にうるおいについては、柏尾川をはじめとする周辺の自然環境の特徴を活かし、周囲と調和した緑化・省エネルギー対策・環境負荷の低減・市民の憩いの場の拡大など、利用者がうるおいを感じられるような取組を行います。

まちがうるおい、はぐくまれることで、周辺地域にゆとりやにぎわいが生まれ、地球環境にも人にもやさしいまちとなり、次世代への持続と循環が得られるものと期待できます。

◆戸塚駅西口再開発における環境への取組基本計画

1 横浜開港150周年記念事業である当事業において、地域のシンボルとなるよう場所や規模に応じた緑化を図り、うるおいのある空間を創出するとともにヒートアイランド現象の緩和に努めます。

(主な取組)

- ・共同ビルの駅側正面及び駐車場スロープの壁面緑化
- ・駅前デッキ・中央プロムナードや三つの辻(街道の辻・柏尾川の辻・大踏切の辻)などを中心とした緑化



2 地球環境に配慮した都市環境の実践として、再開発ビルや公共施設の設計に環境への配慮を取り入れ、大規模施設での取組の先進事例を目指します。

(主な取組)

- ・共同ビルのトイレ洗浄水や公共施設の植栽かん水等に地下湧水を利用して環境負荷を低減(地下湧水などの環境負荷の低い資源利用について、施設への適合性を検証)

3 再開発地区をはじめとする緑を地域の緑ととらえ、地域の人々と協働で緑を育ていく地域活動の仕組みづくりを行います。

(主な取組)

- ・緑化施設の維持管理を市民や周辺の企業・事業者の方と協働で実践
- ・協働による維持管理を継続的に進める活動団体の育成

4 大規模施設の環境への取組を利用し、温暖化対策に関する社会実験にも取り組み、市内内外に向けてアピールを行うことで環境への取組の普及活動に努め、温暖化対策に貢献します。

(主な取組)

- ・再開発地区で行う緑化をはじめとする環境への取組の効果を多方面から計測・分析を行い、市内内外へ情報を発信

- ▶ 本市150万本植樹行動の一環としての位置付け
- ▶ 平成20年度都市整備局運営方針に基づく施策【CO-DO30行動方針に沿った都市整備の推進】